

議会報告会を開催しました

3月定例会の議会報告会を開催しました。4会場で延べ137名のご参加をいただきました。

【第1部】3月議会の報告 【第2部】意見交換（地域活性化について）

開催年月日	場 所	参加者数
平成26年 5月19日(月)	善防公民館	24
平成26年 5月21日(水)	南部公民館	40
平成26年 5月22日(木)	市民会館小ホール	17
平成26年 5月23日(金)	北部公民館	56



善防公民館（5月19日）

■いただいた意見、要望（アンケート含む）

【3月議会の議案について】

- 予算について、具体的な執行方法まで確認の上で可決しているのか。年度末に未達成となっているものについては、理由を確認して次年度に生かせる仕組みを確立すべき。
- 人口増対策としての税金の減免や奨学金の返還補助金等については、費用対効果の検証をすべき。
- 加西の酒で乾杯を推進する条例について、一過性でなく継続できるよう努めてほしい。また、「マイぐいのみ」をつくるような取り組みはどうか。
- 議長不信任決議案について、今回のように少額であっても公職選挙法の違反に問われるのか。また、告発の結果が出ればどうするのか。

【意見交換のテーマ「地域活性化について」】

- 鶉野地区都市再生整備計画について、ぜひとも地域住民が参画できるようにしていただきたい。地形的に適している防災拠点として整備を進めるとともに、市民の健康づくりのためのスポーツ施設等があればよいと考える。また、国道ではなく市道として道路の整備をする理由とは何か。
- 鶉野飛行場の地下防空壕を初めとする戦争遺跡群を活用して、地域の戦争体験者から若い世代へ体験を伝えてもらいたい。しかしながら、どこに誰がいるかわからない。遺跡群を活用するためには、施設整備だけでなく、体験者についてのデータベース整備も必要である。
- 播磨国風土記1300年祭には期待しているが、一時的なイベントにならないように、地域のルーツや歴史を子供たちに体系的に残していけるような、歴史資料館など継続性のある取り組みが重要である。

【市政に関する意見・要望・質問事項】

- イノシシやシカによる鳥獣被害は甚大かつ深刻である。住みよい地域づくりのために、早急に対応してほしい。
 - 燃やせばごみになる草や剪定枝については、堆肥やチップにして活用してはどうか。
 - UIターン者が返還している奨学金への補助制度はよい施策であり、効果が見込めるため継続してほしい。
 - 若い世代が加西市に居住せず、市外を選択する理由として、依然として消防団問題がある。消防団に入るのを避けるために40代後半まで市外に住む人や、勤務後に催される操法や礼式の訓練に辟易し加西市を出て行こうと考える人は多い。消防団は必要だが、現代の住民生活に適した形に改革することは重要と考える。財政難の市に近隣市の倍にもなる団員が必要なのかを含め、人口増対策として消防団改革に努めてほしい。
 - 老人の徘徊等が社会問題化してきている。地域住民が相互に助け合うシステムや施設が重要であり、要望する。
 - ふるさと創造会議は手段であり、形式的なことに終始して目的を見失わないようにしてほしい。
- #### 【議会報告会について】
- 質問の「時間」や「数」を制限し、多くの方に発言する機会を提供してほしい。
 - 議会報告の時間が長いために、意見交換の時間が短くなっている。有意義な場となるように、報告内容と時間配分について見直して工夫してほしい。なかでも、予算などの数字の報告については別途資料を用意してほしい。

※詳細な内容については、議会ホームページでご覧いただけます。